

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	伊万里市立山代東小学校
-----	-------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の重点取組の内容について、各担当者が中心となって進めることができたが、児童・教職員・保護者に見えるような具体的な取組を増やしていきたい。 ・学力向上については、校内研究と合わせて児童の主体性を伸ばすような授業改善と基礎基本の徹底の工夫が必要である。 ・コミュニティ・スクールとして、地域サポーターを増やすことができたが、次年度は、各サポーターの活動で年間計画を立てて、年間行事の中に位置づける必要がある。また、活動したことを地域や保護者に発信していき、さらにコミュニティスクールとしての認識を深めていく。 ・保護者の要望もあり、将来の自分の姿を考えさせるようなキャリア教育にも力を入れていく。
------------------	---

2 学校教育目標	「笑顔で 元気な 東っ子」の育成
----------	------------------

3 本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 「進んで学習」・・・夢や志をもって学ぶ子 自ら関わり、考え、判断・行動し、成長に気づく子 ② 「自分も友達も大切に」・・・自他や郷土のよさを知り大切にするとともに相手を思いやり、ともに生きようとする子 ③ 「心と体をきたえ 何事にもチャレンジ」・・・健やかな心を体をもち、前向きに何事にも挑戦する子
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
●学力の向上	○子ども自らが「学ぶ」授業への転換	○45分の授業において子どもの活動時間を50%確保することができる教師が100%	・校内研究と関連付け、年間6回の授業研究会を計画し、授業改善を図る。 ・日頃から「話し合う活動」を意識した授業を行えるよう年間2回以上強化週間を設け、教師同士が授業を見せ合い学び合う機会を設ける。						
	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「自分も友達も大切にできた」と答える児童の割合を85%以上にする。 ○「いのちの大切さについて自分の言葉で説明することができる児童が80%以上	・人権集会を活用して相手を思いやる言葉や行動を示し、児童自身が普段の生活を振り返りができるようにする。 ・「いのちの教育」を使った授業を年に2回以上実施する。						
●心の教育	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○困ったときに、「自分から誰かに相談することができた」と回答した児童の割合が80%以上	・「心のアンケート」を毎学期に1回、「いじめ体罰アンケート」と共に実施する。また、教育相談週間を設定し早期に対応できるようにする。 ・職員連絡会で児童理解の場を設定し、全職員で児童の共通理解を図る。						
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒85%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童生徒75%以上	・まず、教師の方から児童のよい行動を紹介するコーナーを設置し、情報委員会が放送して知らせる。 ・夢や目標をもつように、地域の魅力的な人材を活用して、年間6人以上の話を聞く機会を作る。						
	○「伊万里っ子しぐさ」を活用した心の教育の推進	○児童が進んで挨拶をしていると回答した保護者や教職員の割合が80%以上	・児童のよい行動を紹介するコーナーに挨拶の項目を入れ、一週間に一回、紹介する。 ・教師自身の挨拶も自分から進んでするように心掛けられる。						
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」	○「山代っ子の約束」をすべて知っている児童の割合を80%以上 ○「山代っ子ウィーク」の取り組みができた家庭の割合が85%以上	・健康委員会を主体にスマホ等の利用状況の実態を把握し、山代っ子ウィークに合わせ、放送や掲示物などで知らせる。 ・「早寝早起き朝ご飯」を推進するために、年に2回ワークシートを活用し家庭で取り組めるようにする。						
	○運動に親しむ児童の育成	○週に2日以上外で遊ぶ児童の割合が80%以上	・なわとび大会や持久走大会などの体育的行事に合わせて、楽しんで取り組めるワークシートなどを用意することで外遊びや運動を奨励する。 ・休み時間のタブレットの使用に関しては、雨の日に限定する。(授業に関係する場合は除く) ・スポーツチャレンジも児童・職員に紹介し、取り組みを奨励する。						
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・校時表を見直し、放課後の時間を確保できる日を設定する。 ・質的な改善の具体的な方法を話し合う研修を年に2回以上実施する。						

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
○全児童の学びと育ちの保障	○全ての子ども学びを引き出す学習環境の工夫	○学びやすさを保証する支援①～④と教室環境づくりができる教職員が100%	・校内研究の事後研修会で、①～④を授業の視点として協議する。 ・学期末に教職員に達成度調査を行う。 ・UDJについての考え方や実践事例についての研修会を夏休みに実施する。 ・不登校や出席停止で長期欠席の児童に対して、リモート授業を全学年で実施する。						
○地域連携教育の推進	○コミュニティスクールの活動の推進・深化	○リモート授業で学びの保障ができる教職員が90%以上 ○各サポーターの初年度の活動として、2つ以上実施する。 ○年間3回以上コミュニティスクールだよりとして、保護者や地域の人に発信する。	・各地域サポーターで話し合う場を設定し、実働を促すための年間計画を作成する。 ・コミュニティスクールの取り組みを学校HPや学校だよりで紹介し、理解を深め						

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
--------------------	---